



入れ歯は人工臓器 もっと大切に！

●入れ歯の大切な役割●

むし歯や歯周病あるいは事故などにより、不幸にして自分の歯を失ってしまった方の強い味方になってくれるのが、さまざまな種類の入れ歯や、インプラントといった入れ歯の仲間です。なかでも、取り外し式の入れ歯は、多くの歯を失われた方の、ものを噛む機能を回復することによって食事の手助けをするだけでなく、歯がなくなることによって起こる発音能力の低下や顔の変化などの問題解決にも大いに役立っています。

●なぜ入れ歯は評判が悪いのか？●

大いに役立っているはずの入れ歯ですが、残念なことに、使っている方々からの評判があまり良くない場合もあります。

評判の良くない理由には、「ものがうまく噛めない」「痛い」「話しづらい」「気になる」などがあります。これらの声が聞かれる原因には、使用している入れ歯に問題がある場合も多いですが、使用している入れ歯に問題がなくても、なかなか入れ歯に馴染めないという方もいます。

●入れ歯とのつきあい方●

入れ歯は、使用する方が快適な食生活を送れるように、歯科医師が歯科技工士と協力して精魂こめて作っています。大量生産できるものではなく、一人ひとりの異なる口の状態に合わせてオーダーメイドで作ります。作り手の気持ちとしては、入れ歯を使う方が、歯を失う前と同じように日常生活を送れるようなものを作りたいと願っています。いわば、失われた歯を回復する人工臓器を作るような気持ちで取り組んでいます。

また、入れ歯は道具に近いものであるため、使うための知識や技術を身につけることによって、長く快適に使うことができるようになります。

入れ歯を入れて痛いときは、我慢せずに外して歯科医院に連絡してください。

入れ歯の痛みは我慢しても良くなりません。自分で削ったり留め金をいじったりしないでください。

また、入れ歯が壊れたときは、あきらめて捨てずに歯科医院のところへ持って行って下さい。多くの場合で修理が可能です。

参照：教えて！歯と口の健康早わかりガイドブック